

地域医療に係る医師の確保

〔共通・継続〕

■ 現 状

西胆振圏域における医療は、基幹病院として4つの総合病院（日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院、伊達赤十字病院、市立室蘭総合病院）を配し、病院相互の連携（病病連携）や、病院と診療所との連携（病診連携）を拡充しながら地域住民が安心できる医療提供をしてきている。

しかし、診療科の統合調整や医科大学への医師引揚げなどで診療科の偏りや医師の偏在が相次いでおり、診療科によっては医師不足の状況にある。

■ 課 題

●救急医療・検診等における医師の負担増大

救急医療に関しては、外傷度合いや疾病により救急を担う医療機関が限定されており、医師への負担増大が大きな問題となっていることから、地域的にバランスのとれた適正な医師の配置が必要である。

また、診療以外の各種検診や予防接種の種類・回数の増加に伴い、小児科・婦人科・外科・呼吸器科等の医師の配置に苦慮している。

●胆振西部地域における整形外科、呼吸器科及び循環器科の充実

胆振西部地域では、整形外科、呼吸器科及び循環器科の医師不足により適切な診療を受けにくく住民への影響が大きい。

●登別厚生年金病院の存続

登別厚生年金病院は、登別市唯一の公的病院として、整形外科や温泉療法を含む医学的リハビリテーションの他、内科、外科等の診療も総合的に行い、地域住民はもとより年間300万人の観光客が安心して温泉地区に滞在するための重要な役割を果たしており、今後も公的病院としての機能の維持が必要である。



登別厚生年金病院

■ 要 望 内 容

●恒常的な医師不足や医師の偏在を解消し、西胆振における安定した医療の提供体制を確立するため、特に胆振西部地域における整形外科、呼吸器科及び循環器科が充実されるよう適正な医師の確保

●地域医療を担う公的病院として登別厚生年金病院の存続及びその機能維持